

# SSI 研修

2年生は探究テーマも決まり、いよいよ本格的な課題研究のスタートを切りました。今回は、春に入学してきた1年生も交え、2年生の探究テーマを共有するとともに、互いに探究の進め方を学ぶ機会として研修の機会を設けました。

後半は、大阪大学 理学研究科より古屋秀隆准教授（生物科学専攻）をお招きし、科学と文化のつながりを通して研究の楽しみについてご講演いただきました。

日時：2016年5月7日（土） 9時～12時40分

場所：三国丘高校 視聴覚教室

参加者：1年生 40名 2年生 31名

## 2年生による課題研究口頭発表



2年生は課題研究のスタートを切ったばかりです。そこで、今回の発表テーマは“研究の前さばき”としました。自分たちの目的を明確にし、目的を達成するためにはどのような課題があるのか、どの課題に優先的に取り組むのか、などに目を向け、今後を見通した計画を考えてもらいました。すでに簡単な予備実験を行っている班も多く、今後、どんなことがわかってくるのか非常に楽しみです。

発表は、1年生・2年生の混合班に分かれて聞き、各班の発表終了後、内容について相談する時間を設けました。はじめは学年が異なる生徒同士で話し合うことに慣れていないようで、緊張していましたが、すぐに発表班の研究内容について活発な議論が行われていました。緊張をほぐし、意見交換をした後は、質問しやすい雰囲気生まれ、1年生からもするどい質問・突っ込んだ質問がたくさん出ました。今後に期待です。



## 2年生 探究テーマ

分野 班	テーマ
数学 1 班	統計学について
物理 1 班	光の速さを追って
物理 2 班	紙飛行機の研究
物理 3 班	ゴムの飛距離の予測
化学 1 班	銅鏡の製作
化学 2 班	透明石けんを作ろう
化学 3 班	消えやすい消しゴムを作る
生物 1 班	スクミリンゴガイの孵化条件
生物 2 班	アフリカツメガエルの体色変化

## 大阪大学 理学研究科 古屋秀隆准教授 による講義



### 講演テーマ：生物の研究から感じること

古屋先生はご自身がどんな幼少期を過ごして研究者として今に至るかを、研究者としての心構えとともにご講演いただきました。特に“観察”の重要性と共に、“他の生物を研究・探究することで己（ヒト）を知ることができる”というお話が生徒には響いたようです。また、理系科目だけでなく、古典などの文学作品の影響も、研究を支える大切な芯になると生徒は感じたようです。

今後、生徒が研究者や技術者としてステップアップするために、また世界で活躍できるリーダーになるにあたって、意味深いお話をしていただきました。